

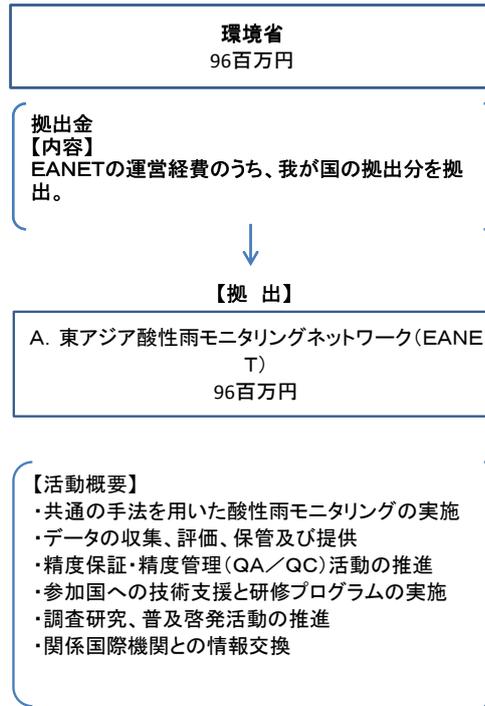
平成23年政事業レビューシート

(環境省)

事業名	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成14年度		担当課室	大気環境課		大気環境課長 山本光昭		
会計区分	一般会計		施策名	3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「東アジア酸性雨モニタリングネットワークの実施に関する共同声明(平成12年10月26日)」				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東アジア地域の酸性雨の状況に関して共通の理解を形成することなどを目的に、平成13年1月から本格稼働を開始している「東アジア酸性雨モニタリングネットワーク(EANET)」の活動を推進することにより、東アジア地域における酸性雨問題の現状と将来について、参加各国間の共通の認識を醸成し、国際協調による東アジア地域全体の酸性雨対策の枠組みづくりを目指す。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	EANETの運営経費のうち、我が国の拠出分を拠出するもの。 <EANETの概要> 東アジア地域における酸性雨問題に関する地域協力体制の確立を目的として、2001年1月から本格稼働。参加国は13カ国。共通の手法を用いた酸性雨モニタリングを実施。また、データの収集・評価・保管、精度保証・精度管理活動等も実施している。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		修正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	126	105	96	85	96	
	執行額	126	105	96				
	執行率(%)	100	100	100				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の基盤を保証するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるため、定量的な成果目標を示すことはできない。			達成度	%			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本拠出金はEANETの施策推進のためのものではなく、EANET存続の基盤を保証するため参加国の合意に基づき拠出を行うものであるため、定量的な活動指標を示すことはできない。						() ()	-
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	経済開発協力機構等拠出金	85百万円	96百万円	ナショナルセンターへの拠出金について、昨年度までのドル建てを円建てに変更したため。				
	計	85百万円	96百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>これまでの拠出により、EANET推進のための基盤(体制面、財政面)の強化に貢献している。EANETは東アジアにおける酸性雨問題に関する唯一の関係国政府間ネットワークであり、引き続き拠出を行う必要がある。 EANETの運営経費は、モニタリングデータの収集・評価、精度管理・精度保証活動の実施、各種会合の開催等に使用されており、具体的な支出内容については、毎年開催されている政府間会合に報告され、十分に使途を把握できる状況にある。 最新の国連分担率(日本:12.530%)を踏まえ、我が国の拠出を行うとともに、政府間会合等を通じて引き続き活動内容の進捗状況を随時把握し、活動への投入規模の見直し提案を行う等、効率的な運営が行われるよう求めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>拠出金の重要性を鑑み、現状どおりを認める。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 行っているか
 について補足
 する) (単
 位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	東アジア酸性雨モニタリングネットワーク拠出金	96			
計		96	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)

